44

印稿發 刷輯行 (活 所

幾危の洲鷗

側の情報によれば、右兵圏は アーテン・ドイツ薫はチエコ の組織を決定したが、ドイツ (プラーグ十七日後図通) ズ

全 ン人義勇兵が來襲すれば即時 ・ 光彈を揚げてドイツ領への逃 ・ 大弾を揚げてドイツ領への逃

トイツ領ケムニツツととになり、既に國定全線に配

(日 曜 月)

の空氣愈よ悪化

ルノ條約以來の英國政府の

が治安維持を闘る

-七日午後緊急閣・テー七日強國通)テ

馬口湖附近で

警戒令

チエコオ

支持の立場を堅持して一と傳へられる

よれば、リトヴィノフは飽迄開始したと云はれる、一説に

もので、

駐獨チエコ公使マスニー氏も旣に

英佛會談を開始

後を寒ふ ・ 英國は結局已むを得ずと が 1 テンル地方のドイッ ない 1 が 1 テンル地方のドイッ ないが 1 テン地方のドイッ ないが 1 テン地方のドイッ ないが 1 テン地方のドイッ

の指置に信頼してゐる懐が巍

大體次の通りで

最

H 似據地潰滅

悪の場合の見透

智は

时間以内に

曾出席中のリトヴ を纏る英佛の態度 を纏る英佛の態度

警戒令を施行す 「小旭ロ十八日登園通」十七日午後六時武穴鎮西北方馬口 に對するわが荒鷲軍の爆撃潰 に對するわが荒鷲軍の爆撃潰 を緩であつた、すなはち同日午 を緩つの上における敵骨後大部隊 を緩つの上における敵骨後大部隊 を緩つの上における敵骨後大部隊 を緩って馬口湖附近の敵陣偵 を緩って馬口湖附近の敵陣偵

敵五千を屠る 我荒鷲の爆撃潰滅戦 □ 大の機断)的近より北上し来 「大型では、 「して、 「して 、 「し、 「し、 「し、 「し、 「し、 、 「し、 、 「し、 、 、 、 、 、 、 、 は▼いつればれるないことは國法として定められた以上些かの文 句のあるべき筈はないのである▼また國家が検査に當る以上一般が些かの不安を抱くが なりにも市民の頭から不安の 念を除くと今度は税關に不安 が募つてゐるやうだ▼日本内 地は勿論滿洲國外から滿洲國 へ移入される小包郵便乃至列 車による手小荷物引越荷物等 事實である▼一般郵便が曲

獨でチェコを教授しフランス んとする虚勢的手段も考慮中の立つことを除儀なくせしめ 村上鬼城翁逝去 に高崎園通」俳優の互匠村上 鬼城翁はかねて宿痾擦養中の ところ十七日逝去した、享年 七十四、翁は明治時代から正 で居として知られてゐた 語 (盤といふまでにはまだく) 後多の道程が だく 後多の道程が

が十八日あじあで購京した 家出席のため出張中であつた 家出席のため出張中であつた 自動車貸車庫 の力! かる雑誌 为年俱樂部 少女俱樂部 愛兄にぜひお興へ下さい









備へ各國代表部の意向打診を 環制するやうな事態の發生に 張制するやうな事態の發生に

チェコを見離すこともあり得得により佛チ條約を無観して

高橋理事長歸京

供にも

松間總裁 松岡總裁 松岡鴻鐵總 ちに植田軍司令官ならびに護 その他滿鐵最近の業態について報告懇談の後午後二時十分

石かんとするの秋蒼海の大変に告ぐ、満洲の大変に告ぐ、満洲関の大変に告ぐ、満洲関の大変にあることがあるの大変にある。

年、中北支の山河旭座 に機百千里、又滿ソ國接に して相對す、實に皇國有史 以來未曾有の電大時局と謂 ふべく我等誓つて英靈の遺 ふでく我等誓つて英靈の遺 動を膝がしめざらんことを 関東軍司令官陸軍大將 昭和十三年九月十八日 昭和十三年九月十八日 田和十三年九月十八日 田和十三年九月十八日 田和十三年九月十八日 田和十三年九月十八日

新京三笠町

B

本 橋 通

電話(つ)三二〇四番

日軍司令官の祭文左告秋季恒例祭におけ

司令官

0

祭文

本文 電時のそれ以上である事は一一方、大なる質のでは、こと、同時のそれ以上である。 「とで、関に大なる変化を来して居るが、 を西はながらめ、かくても表が、然しながらかって居るが、の関係を惹起しつくるる変化を来して居るでは間思邦満洲國の動向は自び、如何に力强。 一方、大なる変化を来して居るでは間に対する。 で此間思邦満洲國の動向によりて我帝國の事場とながらか。 がいるでは自己のよるを申さい。 一方、大なる変化を来して居るが、 がいるでは、 がいるでは、 がいるであると申さい。 がいるであると申さい。 がいるであると申さい。 がいるであると申さい。 がいるできる。 がいるであると申さい。 がいるであると申さい。 がいるできる。 がいるできる。 がいるできる。 がいる。 がいる。 でいる。 で

外と内

新京駅 院室完備 一分約 字治茶で世帶道具の店 院長 日本 標天區院 医学博士

父宮殿下

オデッサ市業委議長ビロビジャン市業委議長レーシア共和國保健人民

聯合大會に御台臨

七十萬八千

意を拜したので關係者一同恐懼感激してゐる一時から明治神宮競技場でヒトラー・ユーゲント歌一時から明治神宮競技場でヒトラー・ユーゲント歌一時から明治神宮競技場でヒトラー・ユーゲント歌一時から明治神宮競技場でヒトラー・ユーゲント歌

その他沿海州、浦鹽、トルキスタン、ヤルズロフスカヤ、グルギヤ地方要人多数ヤ、塩 刑 水神事 アムール州検事 アムール州検事 アムール州検事

人事大異動斷行

内務で現段階即應の整備

竹田宮妃殿下

既はしく御靡京遊ばさ 日標宇殿下御赴任に際 日本芸殿下御赴任に際

口

攻畧を目前に

田藏相時局談

大要左の如く語つた か、十七日時局問題に が、十七日時局問題に 関通」池田誠相は週末

航空兵力 陸軍豫算編成方針 は 軍擴 重點

【東京國通】陸軍では明年度 独算編成について既に一般會 計新規事業に關しては要求を 大蔵省に提出し、今次事變に 大蔵省に提出し、今次事變に 大蔵省に提出し、今次事變に 大蔵省に提出し、今次事變に 武漢攻畧後の情勢に即應す

一、事變が長期となつた以上して臨時軍事費は

ユーゲ のため十二月卅一日長谷川司を墜墜した空の偉勘者で、こを墜墜した空の偉勘者で、こ オーク型二機を撃墜したのを京、南昌の空襲に参加、昨年京、南昌の空襲に参加、昨年

一行伊豆大島へ 使節團は十六日

日で芝浦出帆の南丸で伊豆大島に取り、なほ一行は十七日本の日獨伊繪書展覧會を見學した。次日獨伊繪書展覧會を見學した。なほ一行は十七日で芝の自治會館で目下開催中の日獨伊繪書展覧會を見學した。なほ一行は十七日で大り、次は一行は十七日で大り、次は一行は十七日で十日夜中の日獨伊繪書展覧會を見學した。なは一行は十七日夜中の日獨伊繪書展覧會を見學した。なは一行は十七日夜中の日獨伊繪書展覧會を見學した。なは一行は十七日夜中の日獨伊繪書展覧會を見學した。なば一行は十七日夜中の日本書を見學した。

リ聯反革分子檢學

大觀作品

萬國博に出品

極東方面で又復大量處刑

決定においては

に九部の各部長

血の肅清熄まず

で煙状のエグビ大將はこの程 に く大々的な極東軍の蘭清工作 く大々的な極東軍の蘭清工作 目下準備中である旨を述べた 大佐着任す

ッ聯に渦巻く反革分子 離清の が、最近極東沿海州地方 離清 が、最近極東沿海州地方 離清 についでアムール州 瀧、政治 部、司法關係幹部の大量銃殺 ならび検撃事件素露し民心に

大使となつたオットー少略に重武官より一躍駐日ドイ際により一躍駐日ドイ 少將の

後任武官はながらく空席にな 参謀本部附無國防大學教官陸 軍大佐ゲルハルト・マーキー 氏が家族同伴十七日東京に着 ウイッチの激戦で勇名を轟か せた、大戦後は殆んど参謀本 部詰め、外國に出たのは日本 が初めてゞある でサンフランシスコニコーク及でサンフランシスコニコーク及でサンフランシスコニコの関連監督はいよく、明春盛大に開催されることになり商工を横つ上で、自下銀章準備中であるが、こ日下銀章準備中であるが、こ日本の海雪に日本監備の真價を世界に知らしむるため商工省場は関田三郎助の三書伯に委場は関田三郎の三書伯に委場は関田三郎、日本書の真合を横守して出品することにないます。 外務省解令(十七日附) 事(盤谷)

定、今回の發表と 目下上京中宇佐美 的折衝により鐵道 の決定を見る

本學生水上

大多、軍闘係より でに次長、課長20 でに次長、課長20 でに次長、課長20 でになる。

神宮プールで響行を飾る全日本學生を飾る全日本學生

- ルで擧行、成績左の - 日は十六日午後三時 - 日は十六日午後三時 - 日は十六日午後三時 - 一日は十六日午後三時

全日

(日曜月)

の他ナチス 黨部 臓 二百四十萬 二百四十萬

| | 対下司法幹部十數名を始め政 | 多數 | 一、檢 零

同教事アーセー同教事アーセー

七十二萬五千十萬十萬

一書記

エフ州黨委第一書

ー書記ッカ

ヤ州鉱委第

兵力につき、次の如き數字をと関係の計算による列國の現有となる列國の現有

一、統 殺 一、統 殺 主なる犠牲者左の如し

强

軍備現勢

校舎の増築 (京城支局) 總将府の第二次 (京城支局) 總将府の第二次 (京城支局) 總将府の第二次

任し新會社々長い 宇佐美氏を輔佐か つてゐる、なほ歌 のてゐる、なほ歌 は鐵道省より、また が任命される筈

合を缺くとき

右の分気と味

異動

守らるべき日

に字佐美顧問かまで近く設立工作の

で様注意すべし思ふ如くならざい。 が吉 間目たるべし の目れるでしる運

營處從 業店來 開舖祝 に付き今般左記! 三十番地 候移轉像

京樂生堂 HS 病 蓄膿症 胃腸 線新京療院 四(西本願寺西隣入) 病 皮膚病 門 病

九月十三日ょり 同月末まで 毛織物・和服コート地 婦人洋服滿服生地

秋冬の流行生地豊富に入荷 致しました。何卒お早く御 來店の程をお待ち申上ます

は木造建築に模様替しても計 をない、此の際極力代用品又 なため、此の際極力代用品又 なため、此の際極力代用品又 なため、此の際極力代用品又 内務行政 内務局長官全聯で

三原山に登り十

會全國聯合協議會は愈々來る 市大日より新京においては目下地方より提出せら 地大日より新京においては目下地方より提出せら に關する議案に對する答辯對策 に關する演説に一き事務局に に關する演説に一き事務局に であるが、今年度 特に権利に関する演説に一き事務局に であるが、今年度長 の負擔の拘飾に注目であるが、今年度長 の負擔の拘飾により地方は関する。 を用うる事と見られてある。 であるが、今年度長 の負擔の拘飾により地方は のものもの。 を用うる事態間 を用うる事態間 を用うる事態 のもの。 を用うる事態 のもの。 を用うる事態 のもの。 を用うる事務局に のもの。 を用うる事態 のもの。 を用うる。 を用きる。 をにより地方 のいた。 を用きる。 を用きる。 をにより地方。 のいた。 の 鐵道省はじめ闘な 域、北支軍特務部 て緊密なる連絡 北支交 社の首

科医博



の慶

高早年年中本会社の大のコートで

結果左の如し 原庭球職等 原庭球職等 原庭球職等

關立學教

0

公弟四店

校商几

満洲國在勤を命

特に御相談に應じます 御用は電話③二四公本 電三二五八八番 三三五八八番

高志

盗大の世一だん込し落に中渦の慄戦を關の戶江大 子敏・郎太好る盛を傷感の日き若が郎三伊の墨入 演快の々久



突如檢索

新京閣等から現行犯六名

京吉藤菊酒杉松鶴小

後二時三十分新京驛發列車でつた、かくて一行は二十日午

氣き天け の ふ 温ふ 氣の

最高 一八度五 一一度五

シュ

開では第二位需品局を約五、 会ぐん!へ他を引き離して南 鍛錬に優勝を期す新京工學院

絢爛豪華を極めた

防空献金のタ

た吉右衛門丈は應接間で軍

播磨家大一座の熱演

この度は色々と御盡力を敷き何とも御醴の中上げやうも御座いません、この上は事心の力をこめて舞ぶを相事心の力をとうでする皆様の御融間になればこの上ない幸せと存じますと検渉を述ぶれば軍司令官はか充分軀に注意してならですが充分軀に注意してならですが充分を対して動いて大きです。

を 電 日 を 本原業所加事

答 00020 2 1-1

满猪增林中猪川河津服西中 388119津服西中 4444

にそれら、響を渡し大馬路を一行は電業支店前で第三走者(一行は電業支店前で第三走者

新京工學院A、第二國民高等 勢に第一位を占め需品局、間第一國民高等學校Δ斷然

工學院と續いて忠靈塔を参拝して忠靈塔に向ひ營締需品局して忠靈塔に向ひ營締需品局して忠靈塔に向ひ營締需品局

六百米の後に置いて第四走者 中職に戻り平安橋でラストコ 外を南嶺戦跡目指して掌駄天 忠魂碑に参拜第五走者と交代 南鷴に戻り平安橋でラストコ

| 學院A連勝す 一時二二分五二秒の好記錄 **戦跡訪問**

一着 新京工學院A(一時二二六分一一秒)(王作智、 一篇 第一國民學校A(一時 工管、朴景錫) 在穩、朴景錫) 在穩、朴景錫)

米、栗打、製縄、コーンセラー、豆粕、細末等の作業場四十 「空育罐室等總徴算四千五百圓 につき北川主事より詳細説明 たつき北川主事より詳細説明 を加へ原案可決但し工事は明

動を見詰めた鮮かな見得 思ひつめる老人の心を繰 思ひつめる老人の心を 思ひつめる老人の心を とこつ服 切り損じ、石を切つて刀 切り損じ、石を切つて刀 切りを を見せる「刀と刀」

かなよく傳へて敷きです、私も昨夜はライの努力と滿洲國の たく御覽になつてこよく御覽になつてことは もく御覧になってこれが、この上は は、この上は

れ今村院長の案内で各病室に 白衣の勇士を慰問したが、播 磨家は一室毎に叮嚀な顧問、 騰謝の言葉を述べ「誠に有難 いことです、私は良い國に生 れました」と述謗しつム午前

ノロケ箱献金

軍司令官と

日午後二時から滿鐵新京支社日午後二時から滿鐵新京支社日年後二時から滿鐵新京支社出席過般の總會に於て研究問題として残された綜合電化農題として残された綜合電化農場建設問題即ち脫殼、粒摺、精場建設問題即ち脫殼、粒潤、

製っつた紋服、袴に威儀を正大はじめ時職、九殿、清元梅東はじめ時職、九殿、清元梅東の定合を訪問した、播磨家の定会官を訪問した、播磨家の定会官を訪問した、播磨家の定義を表した。 草を携へて新京陸軍病院を訪た、次いで一行は顧問袋と煙

O

平田組

電勝

路からダイヤ街を経て自宅へ 後五時ごろ客島車で城内六馬 で スを粉失 惠民路三

水力電氣

日

滿商事

二等乗車バスの入つたバス入の歸途現金三百八十圓及滿鐵

渡 清 邊 水

軟式庭球

と新京陸軍病院を訪

・ れました」と連繰しつゝ午節 ・ れました」と連繰しつゝ午節 ・ げた【寫真は軍司令官訪問の ・ 古右衛門丈】

アマチュアー

準硬式 田五 出五 決 中島 四 一 〇 野球

決勝

熟のため病床に队したもので 通署へ屆出た、 () 局出の運く なつたのは紛失のその日から 司令官追悼會故岩佐憲兵隊

| 元闘東憲兵総司令官故岩佐藤郎中將の追悼會を十九日午後 | 臨中將の追悼會を十九日午後 | 協和會朝鮮人分會主催で相禁 むことになつた

満洲飛行協會主催第二回競技 大會は十月二日新京南飛行場 に於て全演の岩鷺をすぐつて 日本航空少年園では松平鎮を 始め會員が日満親等使節とし 地元新京支部にては松平鎮を 地元新京支部にては水平鎮を 地元新京支部にては水平鎮を 地元新京支部にては本年大會 定は慎軍を期と過敏プライマ リー選手を決定十七日午後二 時からセコンダリーの支部競 技會を触れて出場選手選定の 人津主事よりそれぞれ質品の 人津主事よりそれぞれ質品の

を を を を を を を の如し 本一等中谷本二等高圏本三 等 藤本本四等高宮本五等山 崎(操)本六等高本七等山 崎(光)

△横型多管式ボイラー 四呎×十二呎

第四日七試合戰績

大学出際、 大学工学、活体及び政府では管下各 大学日本及び新興滿洲國の行 大港日本及び新興滿洲國の行 を組織し約四十日間の豫定で 大港日本及び新興滿洲國の行 を出發したが一行は十八日中 を出發したが一行は十八日中 を出發したが一行は十八日中 で奉天經由來京、大都ホテル へ入つた、十九、二十兩日に で本天經由來京、大都ホテル へ入つた、十九、二十兩日に で本天經由來京、大都ホテル へ入った、十九、二十兩日に で本天經由來京、大都ホテル へ入った、かくて一行は二十日中 蒙古政府視祭團

01 367

新京中央通り五二 路 前

洋

田弘報協會の幕間に森皇軍駐問劇

態の旨入電あつた 態の旨入電あつた が最近酸病重 態の旨入電あつたが最近酸病重 帰人事務員募集 年齢二十歳より三十歳まで 年齢二十歳より三十歳まで 年齢二十歳より三十歳まで

選手決定

菅野大將重態

滿洲國官吏消費組合

なぜとづき、梅本散

全満空の大會

対鮮経由一路日本観察の途に

第一中央 中田賀木間野治島保 第一十九日の試合は午後四時中より左の試合は午後四時である り左の対合は午後四時中よ り左の対合は午後四時中よ (於經濟部球場) (於經濟部球場)

年齢二十五歳迄の男女職員を募集す (但日本内地人に限る)希望者は自筆履歴書持参來る九月二十日午後一時履歴書持参來る九月二十日午後一時履歴書持参來る九月二十日午後一時

教員採用(日本人) 新京東二馬路二階 新京東二馬路二階 (宿舎の設備有り) 新京東二馬路二階

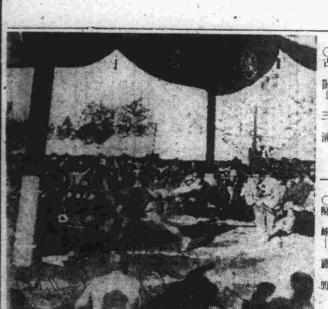
来談の事 ・ 大賽馬從事員募集 新京國立賽馬場

戸第二走者に送る、こと疾走寬城子戦跡忠魂

撫順軍に凱歌 都市對抗角道大會

(日曜月)

傳統大連を屠り



岡上間崎

まった。 東に飛び起きた署員は小澤署 の 東に飛び起きた署員は小澤署 の

ト 目園宿新京閣に於て元キャビル タルダンスホールに働いてゐた たと言ふ十九才の滿人女劉某 と邦人濱田某(二四)が風紀 を素してゐる場面を發見した ほか滿人旅館から滿人女五名 の現行犯を檢束少数に っ選 付きれてゐた邦人女性の姿は 一つも見出すことの出來なかった喜ぶべき狀態を示した

0313

惠

島塚島尾 撫 中田尾良

三本宮相獺蘇高矢竹柴奉總竹入吉 憲 生山吹林田 保下口田 田上間崎馬

民

14000 0 0 1 A 1 電 話 4 A 3 4 局 6 A - 5

本十九日(第三月曜)は

定休日に付乍勝手休業

させて戴きます



PHILERY MINHE ENLIERY HE

御祝物、佛事用の御用命は o t

ね赤 飯

美味と滋養を ドラヤキ 兼ね

七番

高級

△コールニッシェ、ホイラー
△コールニッシェ、ホイラー
△バーチカルボイラー
三、五呎 ×九 呎 二基
申上ます。 京城府課前ソウルビル十二號室
京城府課前ソウルビル十二號室

い。為げるには一方道、概を渡る相手は多勢、逃げるより外は無

ずにその陥りを待つてるた。

英之助は宿屋の二階で、舞もせ

時間はもう四刻近くになって來

れでもお銀は難つて来なか

七、〇〇ニュース(東京)ニュース・告知事項・番組を持一、(東京)七、三〇賞話朗讃(奉天)七、三〇賞話朗讃(奉天)七、三〇賞話朗讃(奉天)

見者・ ・ 受國行進曲 一、受國行進曲 一、受國行進曲 一、受國行進曲 一、受國行進曲 五、日の丸行進曲 五、日の丸行進曲 大、二〇コドモの新聞(東京) 村 岡 花 子 村 岡 花 子

、三五經濟市況(大連) 、四〇經濟市況(大連) 、五九時 報(東京) 、五九時 報(東京) ※※ 〇、〇一書の演藝 ※ 〇、三〇ニュード) ※ 〇 木(東京・新京)

栗艦現の常燈明が監

五○経済市況(大連・新州象通報・ニュース・(東京)

った。

が後にゐると知らせて遭りたいし

「なんとかして英之助に、敵軍平

の御用は

そとで、お銀に不断的んだ者へ

機の狭に行んで思ひ迷

(大連・新京)

金致

外權

七、一五朝の曾樂(大連)
八、二〇氣象通報
八、二〇氣象通報
八、二〇氣象通報
八、二〇氣象通報
八、二〇氣象通報
八、二〇氣象通報
八、二〇氣象通報
八、二〇氣象通報
八、二〇氣象通報

の黒い影が見え離れに尾行するのお銀は、何も知らないが、数備

当屋根に、皆の影法師を揺がせた 鑑慮が一撮。その光が、、能に、

変ん・堂 電話のニーエニ 大和通四六ノニ

外は闇だ、間前のやうな顔の音

憎思

の眼

の船底へ進込まれてるた。

ちやんと用意が出來てゐて太い

(百十九)

TE NO

15

窃

今辨慶整骨院

ウジ

足にまかせて歩く中に、土地不

河の流れが、だん(高く聞え

間を初めた。その眼は、情悪で一

「長七郎の在所を云へ」

ばいだ。

紫雲社

ほれつざ

「知らない!」

お銀は、絵師である。

灣所屬院獎泰山書院 新京朝三丁目一八現代 計畫 籍買入、御報參上 新西人現代社

3.

量の

番

組

岩。

殿。

膝。

栗,

二、獨奏 樂月 中尾都四作曲

窓ち彼女は脳出した。右手は七窓

行かね女、網多に融解は出来ない。 も見えるけれど、元来一ト騰郷で も見えるけれど、元来一ト騰郷で の選いのが、やはり気になるのだ と思ってるる。それだけに、歌り行かぬ女、網多に袖歌は出来ない

御用

三省堂製本所 振簿事門 三笠町三八九



大宴会場と

新潟直航

四九四三(三)電

神肛婦淋 経門 A S 痛病病病

さし、「」、「日田川一日 十一日 日田川一日 十六日 日田川一日 十六日 日田帆 解津澄領十時 羅津澄領十時 羅津澄領十時 による はんしゅう はんしゅん はんしゅんしゅんしゅん はんしゅん はんしゅん

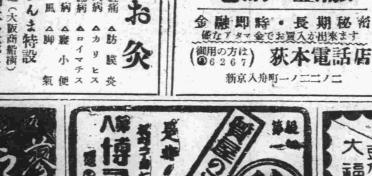
一日十一日 十

大豆先物、商品务、證 等、電話 第二條通二人 東二條通二人 東二條通二人 大豆先 樂生堂H S線療院 (西本願寺西隣入)

便迅速

東省實業株式會社 駐在所 新京特別市大同大街四〇六號

東二條通二十五番 電話 3 **四七七四巻** 中央通 (大阪商船横) ◇あんま特設 お 電話二六七二七番 △カ 財 膜 小 マチス 氣 便





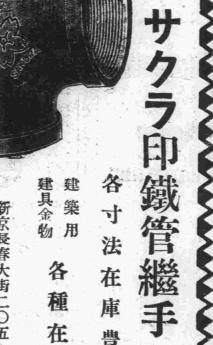
哈爾濱事務所 電コニー六 茶天事務所 電コニニー六 本天事務所 電コニニー六







各寸法在庫豐富 建築用 新京長春大街二〇五



表を意微の祝自 特別料金 3



日

中澄江作

北、四〇調 井田アナウンサー
七、四〇調 演 (率天) 大陸進出と鎖道 大村卓一 演録副總裁 大村卓一 高壁ののの (大阪) 皇軍に贈る慰 皇軍に贈る慰 皇 (全國少年少女應募作品より) 一、大楠 公 龍野 十 賀堂 サッと骨膜を買いて建った。 ない姿が何處かで聞えた。 ない姿が何處かで聞えた。 部プレ 粉れ無き軍平の暫であ

もう目の前に、人形が、 近づいて來た。 とちらは英之助しして 8

さつばり駒がからない。 首を狙つてゐる男。それが、どう 「連の男は、高崎浪人の花居英之 「連の男は、高崎浪人の花居英之 「どうだい。さぞ吃難しただらう 軍平は繋げた。英之助は自分の 電話③五六六九番 窓 派遣婦會

聚營 派遣婦會

大和運輸公司 に依る

大変深めたき者 ・ 大変深めたき者 ・ 10八五 自 温 會 ・ 10八五 自 温 會 ・ 10八五 自 温 會 岡条家至急募集 名本社營業部へ優極書及作品 会本社營業部へ優極書及作品 哈爾濱新聞營業局

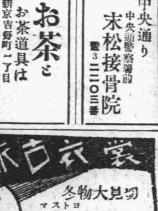
白金·金·銀高價買入

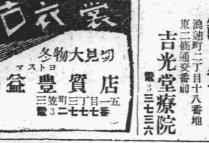
女は、女子専門)の 新都職業紹介所へ 新都職業紹介所へ カメラ修理 乾寫眞機店 電話金融 低利で敏速に

中野工務所へ では買物土館材料建協 内地みやげ電話次第配達 内地みやげ電話次第配達 の地の可能が一下である。 地の可能ができる。 地の可能ができる。 地の可能ができる。 地の可能ができる。 地のでは、 地のでは、 をできる。 にいるが、 に 新京まで

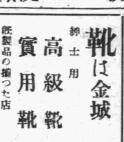
發賣所

お茶道具は新京音質の一子目





實高士

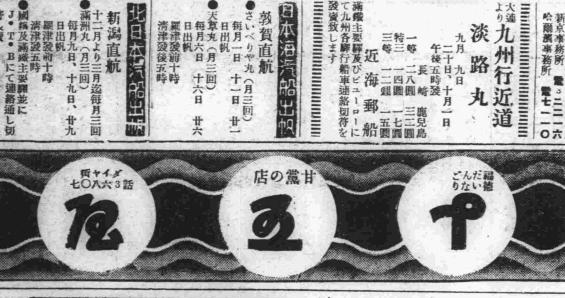






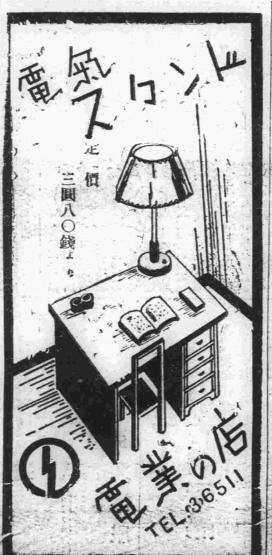


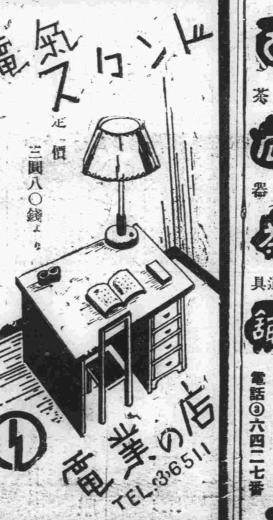






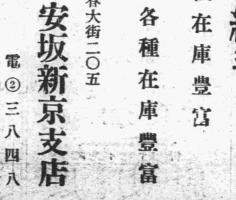














週年記念特別大興行に際して 念特別大興行を開催する事に致しました、何辛豐劇への事とて當劇場上棟式擧行當日を以て開館能念日と相 ました事は當劇場一同感謝に堪へ

